

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：日本海ブロック

キジハタ

| | | | |
|----|-----|------|---|
| 海域 | 日本海 | 参加機関 | 水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター |
|----|-----|------|---|

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は生物情報の収集、各府県調べの漁獲情報の集約を実施。また、日本海北部において標本船調査（体制構築含む）を実施
- ・各府県は漁獲統計の収集を実施

(2) データ収集状況

- 各機関により、令和2年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施した
- ・秋田県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・山形県では2020～2021年の月別漁獲量を収集済み
 - ・新潟県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・富山県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・石川県では主要10港の2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・福井県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・京都府では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・兵庫県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・鳥取県では1992～2010年の年間漁獲量、2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・島根県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み。2007～2018年の月別漁法別漁獲量は精査中
 - ・水産資源研では各府県調べの漁獲量を集約し、青森県では漁獲量が少なく、年間1トン未満であることを確認。また、日本海北部においては標本船調査（体制の構築を含む）を関係県とともに実施

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書を参照
- (2) 年齢・成長：令和2年度評価報告書を参照
- (3) 成熟・産卵：令和2年度評価報告書を参照
- (4) 被捕食関係：令和2年度評価報告書を参照

(4) 備考

- ・日本海における生物特性に関する調査研究が不可欠
- ・日本海南西海域の漁獲が多く、他海域も含めた地先個体群間の遺伝学的関係に関する知見が必要
- ・日本海北部においては標本船調査等によりデータを蓄積し、漁獲状況を把握することが必要